

心理学総合演習Ⅱ

選択 2単位

石田 航

1. 授業の概要(ねらい)

臨床心理士や公認心理師として心理療法や対人支援を行う上で、体験学習を通して理念や技法を習得する必要がある。その積み重ねた体験をまとめ、専門職として活かしていくには、基盤となる知識や理論が不可欠である。そこで本演習では、臨床心理学の基礎的な知識や理論について学び、心理専門職としての実践に役立てていくことを目標とする。

2. 授業の到達目標

臨床心理学における知識や理論について理解し、さらに説明できること。

3. 成績評価の方法および基準

発表とディスカッション60%、最終レポート40%として総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは利用しない。参考図書や参考論文は授業内で随時紹介する。

参考文献

サトウタツヤ・高砂美沙 流れを読む心理学史—世界と日本の心理学 有斐閣

小川俊樹・倉光修 臨床心理学特論 放送大学出版

5. 準備学習の内容

予習・復習を十分に行うこと。発表の際には事前に準備をし、他者にわかりやすく伝える発表とすること。

6. その他履修上の注意事項

- ・事前学習を欠かさず、積極的な態度で臨むこと。
- ・主体的・創造的な参加が求められる。
- ・レポートでの表現は他者にわかりやすい表現を用いること。
- ・真剣に学ぼうとしている他の学生の邪魔(私語、携帯電話、遅刻・欠席など)をしないこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 心理職の役割について
- 【第2回】 臨床心理学の歴史について学ぶ①世界の歴史
- 【第3回】 臨床心理学の歴史について学ぶ②日本の歴史(オンライン)
- 【第4回】 心理アセスメントとは何か
- 【第5回】 心理アセスメントの実際①発達検査と知能検査
- 【第6回】 心理アセスメントの実際②パーソナリティ検査
- 【第7回】 心理アセスメントの実際③神経心理検査、テストバッテリー
- 【第8回】 心理療法を学ぶ①精神分析／深層心理学
- 【第9回】 心理療法を学ぶ②人間中心心理療法／行動療法
- 【第10回】 心理療法を学ぶ③認知行動療法／集団療法
- 【第11回】 事例について学ぶ
- 【第12回】 事例の書き方について学ぶ
- 【第13回】 心理検査について学ぶ
- 【第14回】 心理検査の所見について学ぶ
- 【第15回】 まとめ